



広げよう たすけあいの輪

# どりーまあ通信

● 第15号 2004年 5月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆  
どりーまあサービス

〒770-0939  
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階  
TEL 088-626-3237  
FAX 088-611-7035  
E-mail : dramer@nmt.ne.jp  
発行責任者 山口 浩志

## 治にいて乱を忘れず



理事長 山口 浩志



昨今、鳥インフルエンザ問題やら東京六本木ヒルズでの回転ドアの幼児死亡事故等、不幸な事故が相次いでおりますが、同時に「企業倫理」や「道徳観」が叫ばれております。このような出来事は二度と起こってほしくない問題ではありますが、この事を単なる偶然の出来事として捉えてはならないと思います。

『治にいて乱を忘れず』という言葉がありますが、これは、いつどこから敵が攻めてくるかわからない、またどういふ大事変が起こるかわからないから、常に大事に処する心がまえを持たねばならない、という戒めの言葉です。

経済にも好不況があるように、人間の体にも好不調があります。そうした時、日々の心がけがどうであるかが大切となります。スポーツ選手の例をとってみても、成績を左右するのはトレーニング期間中の目に見えない努力だと思えます。汗と泥にまみれた猛練習がなければ好成績は残せません。

治にいて乱を忘れず。その精神は平時を継続させ、乱に臨んでは必ず平時の備えができてきます。世の中の出来事を他人事ではなく自分に振り返り、ひとつ一つを教訓として、個人の生活でも団体運営においても常に心がけていきたいと思えます。

私が相談を受けた中から、参考になりそうな例を紹介いたしますと、高齢で一人住まいのAさんのところにリフォーム会社（住宅の修繕会社）Xの社員が突然やってきて、「お宅の屋根が傾いている。早急に修理しないとこのままでは雨漏りがしますよ。」とリフォームを進めました。そして、見積もりをしてもらい、屋根の修理を20万円でもらいました。

ところが、その後再びこのXの社員が来て、「屋根の修理をして



分かったのですが、壁や内装も崩れてい

る。今なら前に修理をさせてもらったので安くしてあげる。」と進めてきたのです。

しかし、Aさんは年金暮らしで雨漏りは我慢できないにしても、壁や内装が少々古くても辛抱して生活できるし、蓄えもそんなにないので「修理は結構です。」と返事をしましたが、その後何回もやってきて、長いと

## 法律相談

弁護士 松原 健士郎

きは3時間も、帰ってくださいと言っても帰ってくれず、世間話を交えながら執拗にリフォームを進められました。そして、やむなくAさんは、リフォームをしてもらうことにしました。今度は、安くしてあげると言っていたのと、前に見積もりをしてもらったときにそんなに高い修理費ではなかったのに、見積もりをしてもらいませんでした。ところが修理が終了した。ところが修理が終わってからの請求書を見て驚きました。「修理費20万円」と記載されていたのです。

さて、このような場合、以前であれば契約をした以上、Xが詐欺や脅迫もしていない以上この契約を取り消すことが出来なかつたのです。しかし、今は消費者契約法という法律が出来ましたので、困惑させて契約させたと認定され、取り消すことができるようになります。Aさんは実費を払うだけで済んだのです。「契約書に書いてしまったからだめだ。」とあきらめずになんでもご相談ください。

利用会員として昨年12月に入会され主に通院目的での移送サービスを週1回うけている上藤さんですが、その2ヶ月前までは家族にお世話になっていたようです。たすけあい活動を利用するにあたり、「一番安心していけるのは家族でしょうね。」と目を細めます。

現在上藤さんの援助の担当である協力会員藤原さんからは、「自分でできることは頑張っているから、いらっしゃるので気遣いするこ

ふれあい活動

通所授産施設もんさんへの利用にあたり帰りの送迎車の乗り継ぎで『文化の森総合公園』で待ち合わせをし、NPOでの送迎に乗り換えて自宅までお送りさせていただいている三谷さんですが、週3回の利用もこの連携があつて可能となります。

少しの事を補えるかどうかでサービスを受ける方の希望が叶えられるかどうかにつながります。こうした援助のリリースは地域のためにも今後も大切にしていきたいものです。

送迎ドライバー 藤原 正一さん

利用会員 上藤 留子さん



送迎ドライバー 塩田基一郎さん

利用会員 三谷 実さん



となく、自然なスタイルでかわらせていただいています。」  
「いつもの柔和な笑顔で応じておりました。」

平凡なことでも徹底して続けます

# 凡 事 徹 底

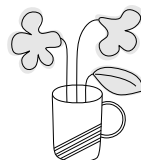
その中から非凡を体得いたします



送迎ドライバー 住本 弘明さん

利用会員 中川シナコさん

徳島病院国立療養所で生活されている中川さんですが、コンサートへの外出は3年ぶりでした。この日は『坂本冬美コンサート』へ協力会員住本さんの移送サービスで行ってきました。半年前から予約していただけたに、担当になる住本さんも「この日だけは何かあっても中川さんのために予定をいれずに空けておいたんです。」とやさしい眼差しで中川さんを見守っていました。互いに『人生のパートナー』として認めあっているお二人に拍手をお送りします。



# 一意専心

## ひとつ一つの仕事に集中して 取り組みます

Tさんがこのたすけあい支援をうけるきっかけは「どりーまあ」利用会員さんから紹介を受けてからでした。約2年前からです。今でも週1回の利用で支援させていただいております。膝の痛みがあったり心臓も強くないため、なかなかできない掃除や買い物等のお手伝いをさせていただいておりましたが、ずっと同じ人に来てもらいたいと希望で山田さんがかわつております。かわり始めたころは、別の仕事をしながら合間にたすけあい活動として参加していただいていた山田さんも、1年前にヘルパー資格をとり、現在は「どりーまあ」でヘルパーとして活躍する傍ら合間の時間を縫って



ヘルパー兼たすけあい協力会員  
山田 秀子さん  
利用者 T さん

の活動です。会員としてかわつていた頃を今との違いを聞いてみましたら、「自分の中では区別はなく私を必要として下さる方々で一生懸命に頑張るだけですね。」と特に気負った様子もありませんでしたが、顔の表情からはプロとしての誇りを感じました。

昨年の6月頃より公的サービスを受けられている西田さんです。

援助内容は主に掃除と買い物を週2回のペースです。「自分では身動きできなく困っていたので今は助かっています。」と喜んでいただいております。また「ヘルパーさんとおしゃべりしたりすることで精神的にも気分がなごみます。」というお言葉もいただきました。

ヘルパー  
利用者 島村ちあきさん  
西田 靖子さん



この日サービス担当していたヘルパー島村さんも、始めは慣れなかったこの仕事もやり始めてからやがて1年になります。「今はいろいろな人とおつきあいできてそれぞれの人生を教えていただき勉強させていただけたり、利用者さんより励まされる事もあります。」との感想でした。

### 男性ヘルパー紹介

介護福祉士 小澤真太郎



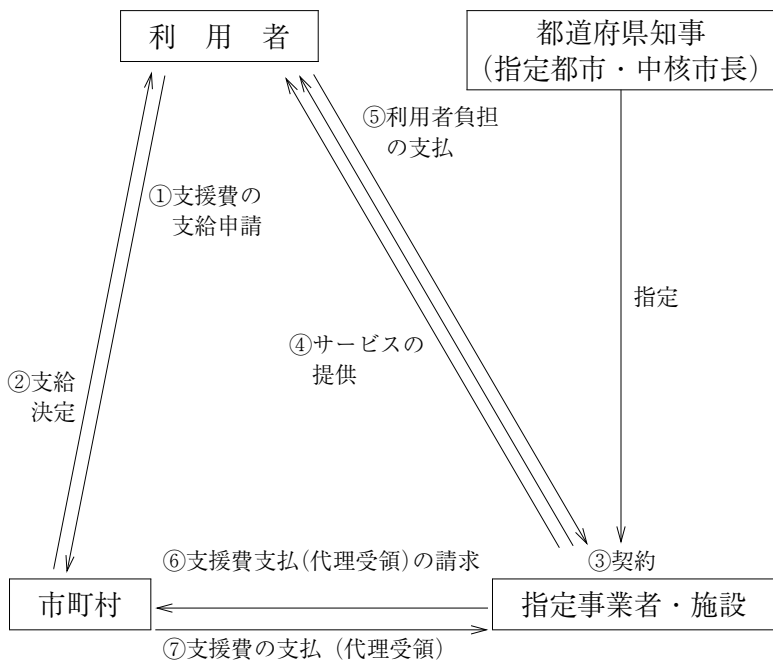
専門学校時代の友人から現在の職場を紹介してもらったのがきっかけで働き始めました。自分は介護福祉士資格は取得はしているものの、経験がなかったもので、始めはボランティアとして活動をさせていたかどうか、とも考えていたので

### 時代を拓く

ですが、山口代表から、「自分の資格に自信をもたなあかん。」との励ましもありホームヘルパーとして働かせていただく事になりました。男性ヘルパーをどこまで受け入れてもらえるか、不安はありますが、先輩ヘルパーの方々の温かいご指導・アドバイスをいただきながら頑張っております。これからも何事も前向きな姿勢で取り組み、多くの利用者さんに喜ばれるヘルパーになりたいと思います。

# 支援費居宅サービス始動

## 《支援費制度のしくみ》



※ やむを得ない事由により上記の方式の適用が困難な場合には、市町村が措置により、障害者福祉サービスの提供や施設への入所を決定する。

## 《支援費制度の目指すもの》

障害者サービスについて、これまでの行政がサービスの受け手を特定し、サービス内容を決定する「措置制度」から、新たな利用の仕組み（支援費制度）に平成15年度より移行することになりました。この制度は、障害者の自己決定を尊重し、利用者自身がサービスを選択し、契約によりサービスを利用する仕組みにしたことが特徴です。支援費居宅サービスについては、平成16年4月より「どりーまあ」として取り組み始めたところですが、やり始めてわかったことですが、制度自体の基盤がまだまだ不十分な面があり、現場にかなりなしわよせが生じているかと感じています。だからこそ、利用者や市町村と事業者、3者の協働が制度を有効に活用していけるかどうかのキーポイントだと思います。

## 志す

### 新人ケアマネージャー紹介

藤井 清・遠藤 静香

4月よりケアマネージャーとして「どりーまあ」で就業することになった、藤井さんと遠藤さんのお二人です。お二人とも看護師としてこれまで様々な臨床に携わってこられました。藤井さんは精神科訪問看護師として、また遠藤さんも病院勤務の後、在宅の訪問看護の経験があります。しかし、ケアマネージャーとしてはまだまだこれから幾つもの経験を勉強を積み重ねていかねばなりません。

「日々新しい自分を発見させられます。」  
遠藤 静香

識や経験を生かしながら皆様に受け入れていただけるように切磋琢磨していきたいです。」と力強い言葉でした。遠藤さんからは「どりーまあ」では公的サービスの他にもふれあい活動や障害者への支援活動などもあり、幅広い知識の習得や支援技術システムの開発に組織として力を入れていきます。それだけに個人のかねばならず、やりがいを感じています。」とのことでした。7月からは訪問看護ステーションも稼動する予定です。ケアマネージャー以外の顔で地域でお会いする場面が増えるかもしれません。二人の栄えある始動に応援をよろしく願います。

### 新風

「毎日の緊張感を楽しんでます。」  
藤井 清

お二人に今の心境を尋ねてみると、藤井さんからは「新しい人々との出会いや今まで経験したことのない場面もあるかもわかりません。毎日を期待と緊張で過ごしていますが、看護師としての知

かねばならず、やりがいを感じています。」とのことでした。7月からは訪問看護ステーションも稼動する予定です。ケアマネージャー以外の顔で地域でお会いする場面が増えるかもしれません。二人の栄えある始動に応援をよろしく願います。

# 集 い

## ヘルパーステーション合同研修

合同研修会運営委員 山口 浩志

介護保険制度も5年目を迎える中、訪問介護の分野についてはヘルパーの資質向上が叫ばれております。そこで、今回3回目の合同研修会を開きました。現場での様々な課題を事業者の垣根を取り払いお互いに刺激しあうことは、事業者内での研修とは違った効果があり、今後もこうした取り組みには協力しあって続けていきたいと思っております。



今回は『リーガルサポートセンター 徳島支部』の副支部長の、司法書士 板東史郎先生をお招きし、10団体が集いました。参加人数約100名が集まり、日程的には土曜日の夜でしたが、会場は熱気いっぱいでした。会場は熱気いっばいでそれぞれ昼間の疲れも見せず、板東先生の講義に真剣に取り組んでいました。

講義内容については、『権利擁護事業』と『成年後見制度』についてであり、財産管理の問題や後見人についての基本的な説明を事例を交えながらわかりやすく説明

〈テーマ〉  
**利用者の権利を守るサービス**  
 ～ホームヘルパーの心得～

講師  
 リーガルサポートセンター  
 徳島支部  
 司法書士  
 板東 史郎 先生

していただけたと思います。ヘルパーとして業務しておられますと、このような問題は日常茶飯事であることですが、なかなか詳しく知る機会がなかったと思われまます。会場からも「この機会に利用者さんからそのような相談があれば問い合わせるところを知りたい」というだけでも心強いです。」との意見もありました。今後とも介護を通して様々な角度からの研修を続けていきたいと思っております。

《呼吸器》

同日、呼吸器機器についても勉強いたしました。これについては、(株)タイコヘルスケアジャパンの方から担当の石原氏にお越しいただき、呼吸器の取り扱い上の基本的な注意事項を教えてくださいました。

《吸引器》

平成16年4月1日、どりーまあ事務所会議室にて吸引器についての学習会を県看護協会訪問看護ステーションから長谷康子氏を講師としてお招きし開催しました。3団体が集まり合同で行ったわけですが、これは『在宅ALS患者の痰の吸引行為』に関してホームヘルパーへの適切な指導が義務付けられていることから企画いたしました。そういう意味でも参加者全員が真剣な表情が伺えました。

# 学 ぶ

# 研 鑽

## 職員研修

平成15年11月22日、県民活動プラザにて開催した研修会ですが、第2回目の合同研修として開催いたしました。今回は、「コムスン」、「センター事業団」、「どりーまあ」の3団体約60名の参加者でした。講師にお招きした日開野先生からは、援助技術についての基本的理論を、OHPを交えてわかりやすく教えてい

平成15年11月

### 『援助技術の基本』

ただし、また各グループに分けてディスカッション形式で、『聴く』という事の学習もあり、充実した内容でした。

講 師

四国大学助教授  
日開野 博 先生

昨年12月中旬に大阪で開催された『訪問介護事業所サービス提供責任者研修会』に当団体からリーダーヘルパーである高畠知世子氏が参加いたしましたので、1月研修会として、取り上げました。内容は今まさに四苦八苦しな取り組んでいる「訪問介護計画」についてであり、職員

### 『訪問介護計画について学ぶ』

平成16年1月

発表者

ヘルパーステーション  
たすけあい  
サービス提供責任者  
高畠知世子 さん

全員で今後の介護計画作成について論じ合いました。

平成15年12月3日、どりーまあ事務所にて感染予防についての学習会を行いました。在宅で援助業務を行うにあたっては、重要な内容であり、講師としてきていただいた伊達先生からは現場での実体験を交えながら、援助者として心得ておかねばならない注意点や感染症対策

平成15年12月

### 『感染予防について』

などについて丁寧な講義を受け、今後の重要な参考になりました。

講 師

県看護協会  
訪問看護ステーション  
伊達 朋子 先生

講 師  
県看護協会  
訪問看護ステーション  
長谷 康子 先生

平成16年2月

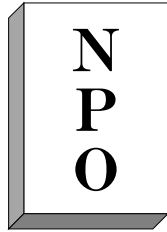
平成16年2月2日にどりーまあ事務所にて行いました。この月は、私たちが普段介護業務に携わっておりますと、必ずかわり

### 『ターミナルケアの基礎知識』

訪れる「ターミナルケア」についての研修でした。講師にきていただいた長谷先生ですが、ご自身が『ホスピスケア』を看護の生涯のテーマとしていらっしゃるだけに、奥深い心のケアのあり方を聞くことができ、参加した職員も話の端々に感動がありました。

「いきいきデイサロン」は、今年度は年間4回開催予定です。今年度初めての集まりは4月4日（日）でした。お昼頃に集まり八万町長谷にあるレストラ

ン『花杏』へ出かけ、緑に囲まれた環境



の中でのランチでした。

腹ごしらえ

の後は、入田

町の山あいに位置する

『健治寺』へ向かいま

した。お寺の方では住職が待っていてくださ

り、まずは参拝された参加者たちの健康を祈

願したご祈禱をしてい

い き い き サ ロ ン  
『 さ ら だ 』



ただき、その後約15分くらい法話を聞かせていただきました。

ちようど時期的には桜の咲きほこる頃だっただけに景色もよく、心すがすがしいひと

きを過ごすことができました。

このような喜びも、自由な空間のもてる『さらだ』ならではの良さでしょうネ！

障害者の理解を深めてもらうボランティア講座が4月13日、知的障害者更生施設第二あおば学園でありました。講師として当団体から山口が招かれ、『NPOとボランティア』という内容で1時間30分程の時間をいた



だき講義をいたしました。

参加者としては、地元のボランティアに関心のある中高校生約50名と施設職員さんたちでした。講義はグループワークを主として、「助け合いゲーム」を中心に進めました。

これは、自分にできる事とまた逆に他人に助けてほしいことをそれぞれ3つずつ取り上げ助ける側と助けられる側の両方をシミュレーション体験してもらいました。

主催された第二あおば学園と障害者通所更生施設マザーグースの担当者の方が参加者に対し

〈講演〉  
NPOとボランティアについて

ボランテイア

〈場所〉  
知的障害者更生施設  
第二あおば学園

て講義のアンケートをとられたのですが、中には「ボランティアを受けるといふ体験を通して、逆に自分には何ができるか、を考えられるきっかけになりました。」との感想もあつたそう、感受性の豊かさを教えられた気がいたします。

# 制度の

# 行方を追う

去る4月30日(金)、東京中野サンプラザにて開催された本集會に、どりーまあから山口が参加してまいりました。この集會は実行委員会として、日本身体障害者団体連合会、日本障害者協議会、DPI日本会議、日本盲人会連合、全日本ろうあ連盟、全国脊髄損傷連合会、全日本手をつなぐ育成会、全国精神障害者家族会連合会、といった団体からの代表者で構成されておりました。

昨今、財源問題をきっかけに、介護保険制度と支援費制度の統合が取りざたされておりますが、この事に関して障害者8団体と厚生労働省とは、障害者施策と介護保険に関する学習会を本年1月より行ってきた



した。そういった流れの中、この度公開対話集會という形で多くの障害者や関係者の方々と議論する

場を設定したという事です。

この日の会場は約600名の参加者のあふれんばかりの熱気で埋め尽くされ、国と当事者との熱い制度論争が交わされました。この中

## “介護保険”と“障害保健福祉施策”の関係を考える

### 4.30 公開対話集會

で、厚生労働省の立場としての見解は、高齢者・障害者施策は、部分的に欠けてはいるが、これまでの「地域生活の支援」「自己決定」「利用者本位」については、各関係者の努力もあり高く評価されるのではないかと、との意見でした。また今後、制度の効率化・国と

れていない中で、財源論だけで統合するという結論には断固反対の姿勢を示されました。確かに、「老いをすこやかに生きる」為の高齢者の援助と「就労支援」「自立した社会参加」などを目的とする障害者支援を同じ制度で確保することは、サービス確保や充実に問題が生じてくる可能性があります。また、精神障害者や難病患者の方についても援助方法を十把ひと



地方とのルールの見直し・財源確保の問題など課題は山積であるが、一つひとつをクリアーしていきたいと考え、との見解を示されました。

これに対する障害者団体側の意見としては、双方のサービス内容が何ら確認さ

とからげにはできない事は明白です。今後、どういったシステムが望ましいのかは、私たち一人ひとりが真剣に考え意見を出し合っていかなければならないでしょう。今こそ共に頑張る時期です。



# たすけあい活動 行動指針

《2003年～2005年 ～3カ年プラン～》

## 1. 自主性の尊重

個人の自発性・創造性を最大限に生かし、常に福祉の現場を社会参加への絶好のチャンスととらえ、自己実現の場とする。

## 2. 公的立場の役割認識

地域住民の自主的な活動の参加を促進し、そうした活動者との連携を常に重視しつつ、地域コミュニティーづくりの現場のリーダーとして活躍できるよう絶えず自らの力を養っていく。

## 3. ネットワークづくり

- ① 地域市民に対して福祉サービスについての啓発・普及活動に努め、誰でもが参画できる福祉コミュニティーづくりに寄与していく。
- ② 各専門機関との連携に努め、社会連帯・相互扶助の意識に基づき、地域福祉を支える構成員としての立場で広く仲間づくりにつとめていく。

## 4. 教育・学習の場づくり

専門的知識・技術の習得や家族と地域社会とのかかわり方といったケース事例を通じた実践研究を基に、教育・研修の場づくりを積極的に推し進めていく。

# 2004年 スローガン

**照顧脚下** 常に自分を振り返り『原点』に立ち返って反省していく。

**一意専心** 目の前にある一切の出来事一つひとつに集中して仕事に取り組む。

**凡事徹底** 周りの平凡なことを確実にこなす。誰にもできないくらい徹底して続け、その中から生まれる大きな非凡を体得する。

**率先垂範** 自分で考えて正しいと思った事は自ら率先して行動に移す。

# 活動報告

平成15年

- 10/14 K氏サービス担当者会議（於：K氏自宅）
- 10/21 県介護支援専門員協会業務委員として『ねんりんピック』相談コーナーに入る（於：アスティ徳島）
- 10/22 福祉オンブズマン『ホップス』定例会
- 10/26 ALS協会徳島支部定例会参加（於：県総合福祉センター）
- 10/27 人権問題シンポジウム シンポジストとして参加（於：徳島プリンスホテル）
- 10/28～11/2

- 欧州在宅介護視察研修参加 ～イギリス・デンマーク～
- 11/7 県介護支援専門員協会業務委員定例会（於：論田病院）
- 11/14 社会福祉従事者有志勉強会（於：県総合福祉センター）
- 11/20 権利擁護学習会（於：県総合福祉センター）
- 11/22 徳島地域研究会 シンポジストとして参加（於：県青少年センター）
- ホームヘルパー合同研修会（於：県民活動プラザ）
- 12/7 ATACカンファレンス2003参加（於：京都国際会館）
- ※ATAC：コミュニケーション技術や生活支援技術を学ぶ目的のセミナー
- 12/10 法人理事会（於：どりーまあ事務所）
- 12/19 権利擁護学習会（於：県総合福祉センター）

平成16年

- 1/15 第3回地域交流推進施策検討研究会議出席（於：県同対センター）
- 1/22 県隣保館関係職員研修会にて意見発表者として参加  
（於：吉野中央ふれあいセンター）
- 福祉オンブズマン ホップス 定例会（於：徳島市福祉センター）
- 1/24 どりーまあ職員研修会（於：どりーまあ事務所）
- 1/27 県南地区難病患者・家族の集い 講師として参加  
（於：牟岐町海の総合文化センター）

内容：『QOLを高める生き方  
～在宅での難病患者さんとのかわりを通して～』

- 1/28 SHC研究会役員会（於：どりーまあ事務所）
- ＜※SHC：徳島神経難病自助ケア（セルフヘルプケア）研究会の略＞
- 2/1 SHCセミナー 『在宅療養での現状について』  
～患者・家族・専門職からの意見発表～（於：県総合福祉センター）
- 第1回難病プラットホーム育成セミナー参加（於：石井中央公民館）
- 2/8 介護支援専門員専門研修（於：県教育会館）
- 2/10 県介護支援専門員協会業務委員定例会（於：論田病院）
- 2/12 第2回難病プラットホーム育成セミナー参加（於：高川原公民館）
- 2/15 ボランティア研究大会 分科会発表（於：賀川豊彦記念館）
- 2/16 センター事業団主催ホームヘルパー養成講座講義  
（於：県総合福祉センター）
- 2/17 地域交流推進施策事業に伴う先進地視察 参加  
（宝塚市くらんど人権文化センター）
- 2/19 徳島保健所運営会議出席（於：徳島保健所）
- 第3回難病プラットホーム育成セミナー参加（於：石井中央公民館）
- 2/20 権利擁護学習会（於：県総合福祉センター）
- 2/21 どりーまあ職員研修（於：どりーまあ事務所）
- 2/26 第4回難病プラットホーム育成セミナー（於：石井中央公民館）
- 2/27 徳島PHP友の会 定例会出席
- 3/1 県介護支援専門員協会業務委員定例会（於：論田病院）
- 3/4 第4回難病プラットホーム育成セミナー参加（於：高川原公民館）
- 3/6 県介護支援専門員協会主催オープン相談会参加
- 3/7 介護支援専門員専門研修（於：県教育会館）
- 3/13 「心身障害児ボランティア育成講座」 講師として参加  
（於：第2あおば学園）
- 3/27 ホームヘルパー合同研修会（於：ふれあい健康館）
- 3/28 SHCセミナー 『食事づくりの工夫』『嚥下障害について～医学的観点から～』（於：徳島県立文学書道館）
- 3/30 福祉オンブズマン『ホップス』定例会（於：徳島市福祉センター）
- 4/10 O氏サービス担当者会議（於：O氏自宅）
- 4/13 県介護支援専門員協会業務委員定例会（於：論田病院）
- 4/16 権利擁護学習会（於：県総合福祉センター）
- 4/24 どりーまあ職員研修会（於：どりーまあ事務所）
- 4/30 『介護保険と障害保健福祉施策の関係を考える4. 30公開対話集会』参加  
（於：中野サンプラザ）

## 16年度 たすけあい研修 プログラム

### 基礎研修

- 4月 制度の理解と職業倫理
- 5月 「掃除」の基礎  
（実践トレーニング）
- 6月 調理実習①  
（実践トレーニング）
- 7月 調理実習②  
（実践トレーニング）
- 9月 記録と業務報告について
- 10月 介護技術とリハビリ①  
（軽度～中等度編）
- 12月 掃除の基礎  
（実践トレーニング）

平成17年

- 1月 介護技術とリハビリ②  
（中等度～重度編）
- 2月 在宅看護の基礎理解

### スキルアップ研修

- 5月 訪問介護計画の作成
- 11月 医学セミナー  
～疾患の基礎知識～

### 合同研修

- 8月 医療セミナー
- 3月 苦情処理とリスクマネジメント

お  
礼  
賛  
助  
金  
あ  
り  
が  
う  
ご  
さ  
い  
ま  
し  
た  
櫻  
川  
治  
療  
院  
様  
櫻  
川  
治  
療  
院  
様  
櫻  
川  
治  
療  
院  
様

事務局だより

